

独立行政法人国立病院機構高知病院 看護師特定行為研修

2023 年度 募集要項

特定行為研修の概要

国立病院機構は、「私たち国立病院機構は、国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のために、たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます」の理念のもと、急性期医療からセーフティネット分野の医療を担い、地域医療に貢献してきました。

医療を取り巻く環境が変化しても、患者や地域住民が必要とする医療を安定的かつ継続的に提供していく上では、医療提供体制の充実・強化が必要不可欠です。また、医療の質を向上させ、維持するために、未来を担う医療人の育成は国立病院機構の責務と考えます。これらの使命を果たすべく、国立病院機構は看護師特定行為研修を推進することとしました。

<研修理念>

国立病院機構高知病院の看護師特定行為研修（以下「本研修」という。）は、高知病院の「私達は心のこもった医療を行い、地域に信頼される病院となることを目指します」の精神に基づき、チーム医療の要である看護師が、患者の状況や経過を観察し自律的に判断し、特定行為の実施を含めた適切な診療の補助業務やケアを提供することにより、これからの時代に望まれる医療に向けて役割を果たせることを目指しています。また、全ての人々の尊厳を重んじ、高度急性期医療、及び地域包括ケア医療の現場において特定行為を実施するにあたって必要となる学習環境を継続して提供していきます。

<研修目的>

本研修は、特定行為の実践に必要な専門的知識及び技術を習得し、あらゆる医療現場において良質で安全な医療を提供するために、高度な臨床実践能力を発揮し、チーム医療のキーパーソンとして、組織で貢献できる看護師を育成することを目的としています。

<研修目標>

チーム医療の要である看護師が、

1. 多様な臨床場面において重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントする基本的な能力を身につける
2. 多様な臨床場面において必要な治療を理解し、ケアを導くための基本的な能力を身につける
3. 多様な臨床場面において患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施する能力を身につける
4. 対象の問題解決に向けて他職種と効果的に協働する能力を身につける
5. 自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を身につける
6. 医師の指示の下、手順書より、身体所見、検査所見、画像所見等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、安全に特定行為を行えるようになる
7. 手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う
8. 医師から手順書による指示をうけ、実施の可否を判断するために必要な知識を学ぶ
9. 実施、報告の一連の流れが適切に行える

これらの目標により、特定行為の実施にあたっては研修後も自己研鑽を重ね、より安全で質の高い看護の提供を探求する姿勢を養うことを重視する。

1. 看護師免許取得後、5年以上の実務経験を有し、現在も看護師として勤務している者
2. 所属施設長の推薦を有する者
4. 看護師賠償責任保険制度へ加入をしている者

<研修内容>

1. 共通科目（特定行為に共通して必要とされる能力を身につけるための科目）

No	科目名	時間数
1	臨床病態生理学	30時間
2	臨床推論	45時間
3	フィジカルアセスメント	45時間
4	臨床薬理学	45時間
5	疾病・臨床病態概論	40時間
6	医療安全学	45時間
7	特定行為実践	
合計		250時間

* 共通科目は、講義・演習（e-ラーニング）、実習で構成されます。時間数には試験時間を含みます。

2. 区分別科目：（各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目）

【1】 呼吸器関連コース

No	特定行為区分	特定行為	時間数	症例数	
呼吸器関連	1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	10時間	5症例
	2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・人工呼吸器からの離脱	30時間	各5症例
	3	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	・気管カニューレの交換	9時間	5症例
	4	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・脱水症状に対する輸液による補正	17時間	各5症例
合計			66時間		

【2】 ドレーン関連コース

No	特定行為区分	特定行為	時間数	症例数	
ドレーン関連	1	胸腔ドレーン管理関連	・低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定およびその変更 ・胸腔ドレーンの抜去	14時間	各5症例
	2	腹腔ドレーン管理関連	・腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む）	9時間	5症例
	3	ろう孔管理関連	・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 ・膀胱ろうカテーテルの交換	23時間	各5症例
	4	創部ドレーン関連	・創部ドレーンの抜去	6時間	5症例
	5	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・脱水症状に対する輸液による補正	17時間	各5症例
合計			69時間		

- *区分別科目は、講義・演習（e-ラーニング）、実習で構成されます。
- 区分別科目を履修するためには、共通科目の全科目に合格していることが必要です。

<研修修了要件>

研修科目における出席時間が当該科目時間数を満たしたうえで、各科目に定める修了試験（筆記試験・実技試験・実習評価等）に合格すること。

- *特定行為研修修了後、修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

<研修期間>

2023年7月3日～2024年3月31日

<研修日程>（予定）

2023年7月3日 開講式・ガイダンス
2023年7月4日 共通科目受講開始
2023年8月7日～12月22日 共通科目eラーニング及び集合研修（共通科目の演習・実習）
2023年11月上旬 区分別科目受講開始
2023年11月下旬 共通科目修了
2023年12月12日～12月26日 eラーニング及び集合研修（区分別科目の演習・実技試験）
2024年1月上旬～3月上旬 臨地実習
2024年3月下旬 臨地実習修了 区分別科目修了試験
2024年3月下旬 修了式

<研修場所・実習施設>

集合研修：国立病院機構高知病院 講義室
e-ラーニング・実習の期間：高知病院 講義室または所属施設

<研修経費>

1. 受講料

所 属	受講料
独立行政法人国立病院機構の病院に所属する者	450,000円
独立行政法人国立病院機構以外の施設に所属する者	600,000円

2. その他

受講料以外に、学習に必要なテキスト等の書籍費が必要になります。

<その他>

1. 履修免除について

他の特定行為研修指定研修機関及び S-QUE 研究会[®] などの特定行為研修に関する e-ラーニングで履修した学習内容が、本研修の学習内容に相当するものと認められる場合、共通科目に限り履修免除となることがあります。出願時に書類の提出が必要となりますので、出願前にお問い合わせ先までご連絡ください。

2. 看護職賠償責任保険について

本研修の受講決定後は、開講式までに看護職賠償責任保険に加入してください。

3. 集合研修中の宿泊先は、院内宿泊施設の空き状況によりご利用可能です。お問い合わせください。

4. 特定行為研修の受講費用については、補助制度が活用できる自治体もあるので医療機関所属の都道府県HP等でご確認ください。

応募要領

1. 受講資格

以下のすべてを満たしていること

- 1) 日本国内の看護師国家試験における看護師免許を有する者
- 2) 看護師免許取得後、5年以上の実務経験を有し、現在も看護師として勤務している者
- 3) 所属施設長の推薦を有する者
- 4) 看護師賠償責任保険制度へ加入をしている者

2. 募集人員 4名

- ・独立行政法人国立病院機構施設内に所属する看護職 2名（呼吸器関連コース、ドレーン関連コース）
- ・独立行政法人国立病院機構施設外に所属する看護職 2名（呼吸器関連コース、ドレーン関連コース）

3. 試験日 2023年5月19日（金）

4. 試験科目 小論文（800字程度）、面接試験

5. 出願手続

1) 出願期間 2023年4月3日（月）～2023年4月21日（金）消印有効

2) 出願書類

- ①受講申請書（指定用紙）様式1
- ②履歴書（指定用紙）様式2
- ③志願理由書（指定用紙）様式3
- ④所属施設長の推薦書（指定用紙）様式4
- ⑤看護師免許の写し（A4サイズ）
- ⑥受験票
- ⑦写真票
- ⑧返信用封筒
- ⑨振込通知書（病院提出用）

3) 審査料 20,000円

- (1)納入は、銀行振り込みとします。本研修指定の「振込依頼書」を使用し、振り込んでください。
- (2)「ご依頼人」は、必ず申請者本人の氏名を記入し、銀行窓口に提出してください。
尚、お名前の頭に「特定行為」を印字しているので、その続きに記入してください。
- (3)振込手数料は、ご依頼人の負担となります。
- (4)「振込金受取書」をもって領収書に代えますので、保管してください。
- (5)振込後は「振込通知書（病院提出用）」を出願書類とともに郵送してください。

4) 出願書類の書き方

(1)受講申請書：指定用紙（様式1）

- ①「申請者氏名（ふりがな）」は、本人が自筆で署名し押印してください。

(2)履歴書：指定用紙（様式2）

- ①年齢は、2023年4月1日現在で記入してください。
- ②電話番号は、いつでも連絡がとれる番号をいずれか1つは記入してください。
- ③一般学歴・専門学歴は、いずれも最終学歴を記入してください。
- ④職歴は、正式な施設名と診療科、勤務期間を記入してください。
- ⑤写真は6か月以内に撮影したもの（縦40mm×横30mm、裏面に氏名記載）を貼付してください。

(3)志願理由書：指定用紙（様式3）

- ①「志願理由」は、臨床看護の経験を含めて、具体的に記載してください。

(4) 推薦書：指定用紙（様式4）

- ① 推薦者氏名には、施設長の氏名を記入し、施設長印を押印してください。
- ② 「推薦理由」は、「受講希望者の看護実践能力、研修修了後の期待される役割等」を具体的に記載してください。
- ③ 推薦書は「厳封」にて準備してください。開封すると無効になるので、厳封のまま送付してください。

(5) 看護師免許証の写し

- ① 看護師免許（原本）をA4サイズに縮小し複写したものを提出してください。

(6) 受験票：指定用紙

- ① 氏名（ふりがな）、生年月日を記入してください。

(7) 写真票：指定用紙

- ① 「履歴書」に使用した同じ写真を貼付してください。
- ② 氏名（ふりがな）、生年月日を記入してください。

(8) 返信用封筒：指定封筒

- ① 受験票送付封筒に受験者の住所、郵便番号及び氏名を記入し、速達郵便額相当分（354 円）の郵便切手を貼ってください。封筒の送付先は、受験者に確実に届く住所を記入してください。

5) 出願方法

出願書類を一括して封筒に入れ、書留郵便での郵送又は持参してください。
封筒の表の左側に、「特定行為研修」と朱書きしてください。

6) 注意事項

- (1) 試験日の4日前になっても受験票が届かない場合は、下記へお問い合わせください。
独立行政法人国立病院機構高知病院 特定行為研修担当者（管理課）職員係長
電話（代表） 088-844-3111
- (2) 一旦納入した審査料及び提出書類は、返還できません。

6. 選考方法

小論文、面接試験の結果及び出願書類を総合し、合否判定基準に基づき判定します。

7. 試験会場及び時間割等

1) 試験会場

独立行政法人国立病院機構高知病院 教室1

2) 時間割

試験科目	試験時間
受付 (30分)	10:15~10:45
オリエンテーション (10分)	10:45~10:55
小論文 (60分)	10:55~11:55
面接オリエンテーション (5分)	11:55~12:00
昼食 (60分)	12:00~13:00
面接（原則、受験番号の早い順で計画）	13:00~終了まで

3) 試験に持参するもの

- ① 受験票
- ② 筆記用具（HB鉛筆・シャープペンシル・消しゴムを準備してください）
- ③ 昼食

4) 試験時の注意点

- (1) 試験中は携帯電話の電源を切って、カバンに入れてください。
- (2) 試験中は、係員の指示に従ってください。
- (3) 病院駐車場は、原則使用できません。公的交通機関で来院ください。

8. 合格発表・入講手続

1) 合格発表日：2023年5月26日（金）

- (1) 病院ホームページに午前10時に合格者受験番号を掲示します。
- (2) 同日、合否結果を本人及び推薦者の施設長宛に通知文書を郵送します。
- (3) 電話での合否の問い合わせには応じられません。

2) 入構手続

- (1) 手続期間 2023年6月2日（金）～2023年6月9日（金）
- (2) 入構に係る手続きについては、合否結果の通知文書に書面を同封し案内します。

9. その他

- 1) 提出された書類により得られた個人情報、受講審査関連のために利用し、その他の目的には一切使用しません。
- 2) 入講前の既習科目（eラーニング）の認定及び履修免除を受けようとする方は、お問い合わせください。

10. 試験に関する書類の送付先及び問い合わせ先

1) 送付先

〒780-8077

高知県高知市朝倉西町1丁目2番25号

独立行政法人国立病院機構高知病院

特定行為研修担当者 管理課（職員係長）

2) 問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構高知病院

特定行為研修担当者 管理課（職員係長）

電話（代表）：088-844-3111

* 祝祭日を除く月～金曜日の8：30～17：15までにご連絡ください。

E-mail：521-syokuin@mail.hosp.go.jp